

くるくる回る羽根に揺れる光

物づくり体験教室

物づくりを通して子どもたちのアイデアや想像力を育成する物づくり体験教室が4月21日、カンガエールプラザで開催されました。市内の小学4年生から6年生まで25人が参加。ペットボトルの中のアルミ製の羽根を太陽の熱で暖めて回す「癒しの羽根車」作りに挑戦しました。子どもたちは、説明を聞いた後、初めて使う工具に悪戦苦闘しながら作製していました。桜井彩乃さん(西小4年)は「羽根の部分を作るのが難しかったけど、ちゃんと回ってうれしい」と満足していました。



風薫る季節を満喫

こいのぼりウォーク

4月21日、こいのぼりウォークが、庄内市民広場を発着点に開催されました。今年は、庄内川堤防沿いに掲げられたこいのぼりを眺めながら歩く約6^{キロ}のコースで行われ、家族連れなど約300人が参加。途中の平田かくれ念仏洞、諏訪神社などでは「庄内の昔を語る会」による説明もあり、参加者らは興味深く聞き入っていました。家族で参加した長浜李音^{りおん}さん(東小4年)は「元気に泳ぐこいのぼりがかわいかった。かくれ念仏洞の入口が狭くて驚いた」と見所の多いコースを楽しんでいました。



激しくぶつかり合う攻防

都城ラグビーフェスタ

ラグビーチームの交流を深める都城ラグビーフェスタが4月21日、母智丘公園多目的広場で行われました。20回目となる今回は、鹿児島、宮崎両県の小学生から社会人までの15チーム、約300人が参加。選手らは、それぞれの年代に分かれて試合に臨み、家族らの声援を背に激しくぶつかり合いながら、チーム一丸となってトライを挙げていました。2人の子どもの応援に駆け付けた中村乃倫^{のり}さん(都原町)は「ラグビーを通して、強くて優しい子に育ってほしい」と話していました。



古代の都城へタイムスリップ

都城歴史資料館春季企画展体験学習会

大昔の生活を体験する学習会「大昔の人になりきろう!」が、4月28日、都城歴史資料館で開催されました。学習会は、同館で9月1日まで開催される企画展「遊びにいこう! 大昔の都城へ」に関連して開かれたもので家族連れなど約120人が参加。麻製の縄文服などを着て弓矢や火起こし、古代編み物などを体験しました。弓矢に挑戦した久野康生君(祝吉小5年)は「初めは難しかったけど楽しかった。昔の人は生きている動物を相手に狩りをしていたすごいと思った」と感心していました。

